



aPlat プロジェクト

WebOS間連携における認証の一元化

今後の展望

2008年6月6日

Webサービス実証部会

松山 憲和 (PFUソフトウェア)
matsuyama.nori@pfu.fujitsu.com

再び、aPlat プロジェクト ゴール



通常使っているWebOS



•WebAPI(SOAP/RESTなど)を使うことでWebOS間で連携



リソース



アプリケーション

機能/サービス



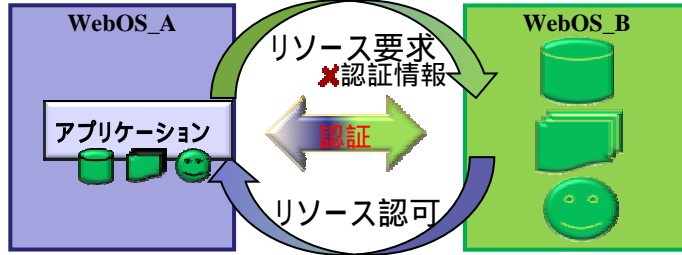
Web API

- WebOS_1で管理されているリソース
- WebOS_2で動作しているアプリケーション
- WebOS_3で提供されている機能(検索など)をWebOS_0で利用したい

検討結果総括



WebOS間連携



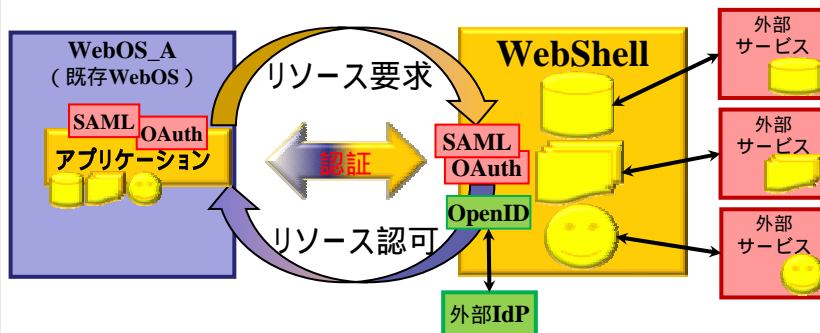
技術	評価	補足
SAML		実装評価まで実施できなかった
OpenID	×	認証一元化だけでは実現できない
OAuth		プロトタイプで実装評価

WebOSが提供するWebAPIの
認証/認可の方式の変更が必要

今後の展開



SAML/OAuthに対応した
WebOS (WebShell) を開発





XML Consortium

[第7回XMLコンソーシアムWeek]

a Plat プロジェクト

END

ご清聴ありがとうございました